

【 5 W 1 H (ごダブリュー いちエイチ) 】 とは？

放送や新聞などで、ニュース原稿(げんこう)を書く時に基本(きほん)となるのが、『5 W (ごダブリュー) 1 H (いちエイチ)』で、英語の頭文字(かしらもじ)から取った次の六つの要素(ようそ)のことです。

英 語	発 音	意 味
When	ホエン	いつ (どんなときに)
Where	ホエア	どこで (どこに、どこへ、どこから)
Who	フー	だれが (どんな人が)
What	ホワット	なにを (どんなことを、どんなものを)
Why	ホワイ	なぜ (どうして、なんのために)
How	ハウ	どのように (どんなふうに、どうやって)

この、『5 W 1 H』という六つの要素をもれなく書くことが、ニュースを正確(せいかく)に、きちんと伝えるための基本といわれています。その際(さい)、『5 W 1 H』をどの順序(じゅんじょ)で書くかの決まりは特(とく)にありません。

放送記者は、取材先で見たり聞いたりしたことを、この、『5 W 1 H』の基本にそって原稿を書きます。

また、放送や新聞では、ニュースをわかりやすく伝えるために、ある工夫をしています。普通(ふつう)の文章では、『起(き)・承(しょう)・転(てん)・結(けつ)』『序論(じょろん)・本論(ほんろん)・結論(けつろん)』などといって、結論を最後(さいご)に書くことが多いのですが、ニュースの場合は、まず、リードという形で先に結論を短く書き、そのあとにくわしい内容(ないよう)を書く工夫をしています。

「リード」ってなに？

- ・「リード」とは、ニュースをくわしく説明する前に、どのようなニュースを伝えようとしているかを短くまとめたものです。
- ・例えば、アナウンサーが、「きょう午後、どこどこで、これこれの事件(じけん)がありました」と、まず最初に読み、続けて、「事件があったのは、どここのどこどこで、きょう午後 時頃(ごろ).....」とくわしい内容が続きます。
- ・この、最初の「きょう午後、どこどこで、これこれの事件がありました」というのがリードです。
- ・新聞では、大きいニュースの場合、見出しのあとに「リード」が書かれています。